

## 5. 施工計画

### 1). 工事規模

#### ■土留工

- ・カゴ枠（控800） :  $A=41.5\text{m}^2$
- ・床掘 :  $V=39.6\text{m}^3$
- ・埋戻 :  $V=10.1\text{m}^3$
- ・残土処分 :  $V=27.7\text{m}^3$

#### ■水路工

- ・ベンチフリューム300 :  $L=6.0\text{m}$

### 2). 主な使用機械

#### ■ミニバックホウ

主に土留工の床掘、埋戻、崩土の掘削積込みに使用する。  
施工箇所が狭小地であるため、 $0.04\text{m}^3$ 級の使用を想定している。

#### ■特装運搬車

主に残土および中詰め材の運搬に使用する。  
現地の進入路が狭く、ダンプトラックの進入が困難。  
 $3\text{t}$ 級の運搬車を想定している。

#### ■小型クレーン

主にミニバックホウの設置・撤去、発生土の吊り上げ、  
かご枠中詰め材の投入に使用する。  
クレーンに土砂ホッパー（ $0.3\text{m}^3$ ）を取り付け、投入等を行う。  
 $2.98\text{t}\times 2.5\text{m}$ 吊りを想定している。

### 3). 現場周辺の状況

県道と進入路の接続部はコンクリート床版（厚さ $13\text{cm}$ ）で、進入路幅は $3\text{m}$ 程度、道中にクランクがある。大型車両（ダンプトラック等）での進入は困難であることから、特装運搬車で土砂の搬出等行う。

搬出した土砂を仮置きするため、進入路入口付近の平地をヤードとし、仮置きした土砂はダンプトラックで搬出する。



写真1 進入路入口付近状況



写真2 進入路入口付近平地

#### 4). 施工手順

##### 【施工前準備】

- ① ヤードとして利用する平地に面している既設ガードレールを一部取り外す。
- ② 水路に仮排水管を設置し、進入路を作成する（盛土）。
- ③ 作成した進入路及び既設コンクリート水路上に軽量樹脂板を設置。
- ④ 小型クレーンを崩壊部の上部平場へ配置し、ミニバックホウを崩壊部へ吊り降ろす。（必要に応じて小型クレーン設置箇所の整地を行う）

##### 【崩土掘削及び運搬】

- ① 小型クレーンに土砂ホッパーを取り付け、崩壊部に吊り降ろす。
- ② ミニバックホウで掘削した崩土を土砂ホッパーへ投入する。
- ③ 土砂ホッパーを吊り上げ、特装運搬車に積み替える。
- ④ 土砂をヤードまで運搬し、仮置き。
- ⑤ ヤードの土砂をダンプトラックに積み替えて搬出。

##### 【かご枠の設置】

- ① かご枠及び中詰材（碎石）を特装運搬車で現場へ運搬する。
- ② かご枠に中詰材を投入し、設置する。  
（投入は土砂ホッパーで直接行うか、下段に一時仮置きし、ミニバックホウで投入する。）

##### 【排水路の設置及び重機等撤去】

- ① ベンチフリュームを特装運搬車で現場へ運搬する。
- ② 小型クレーンでベンチフリュームを法尻に吊り降ろす。
- ③ ミニバックホウで水路設置箇所を掘削した後、ベンチフリュームを設置する。
- ④ 水路設置後、小型クレーンにてミニバックホウを回収。
- ⑤ 軽量樹脂板、重機を撤去。

以上の施工条件、手順を踏まえ、次頁以降に概略施工計画図を示す。



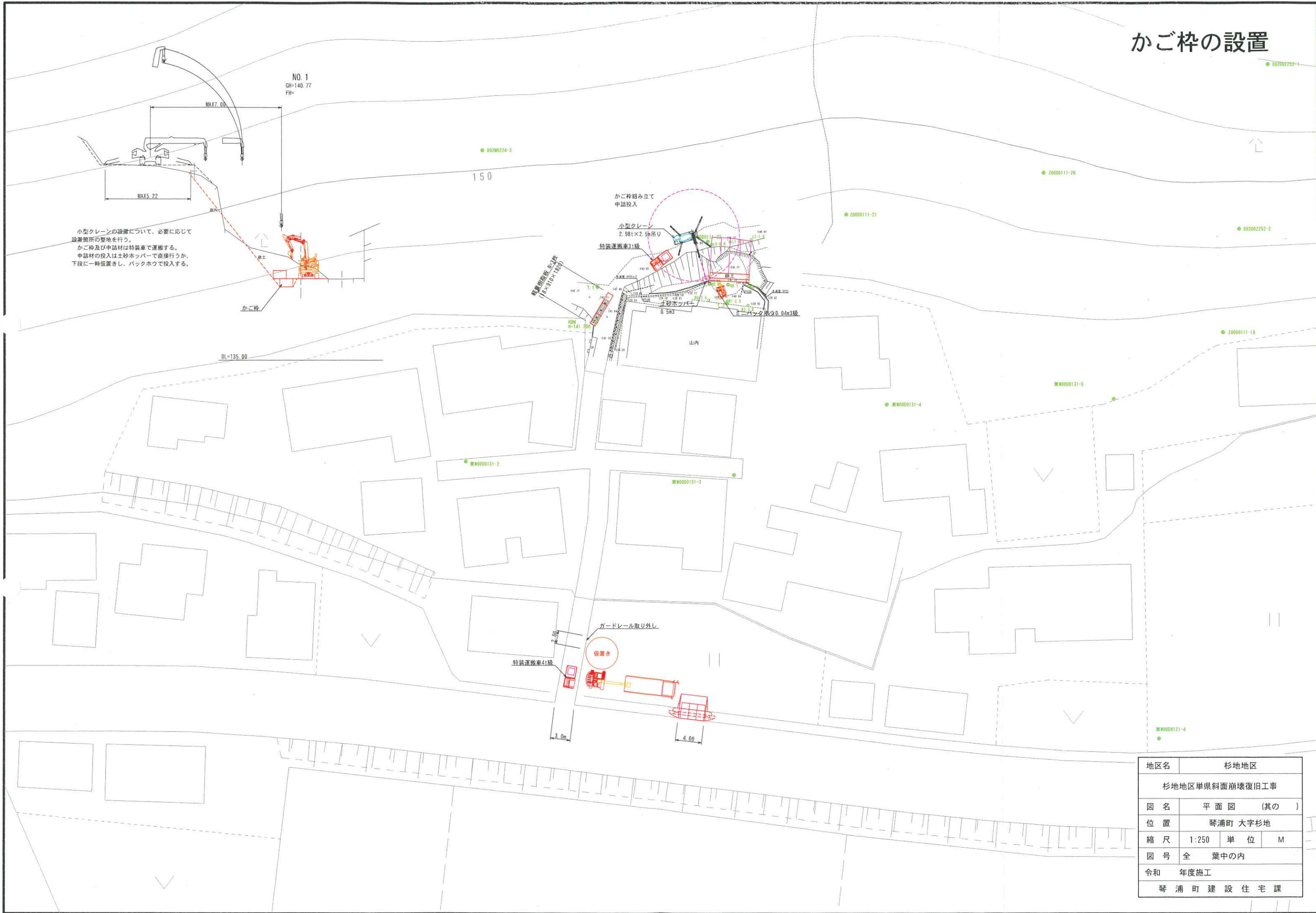


002002252-1



地区名	杉地地区		
杉地地区単斜面崩壊復旧工事			
図 名	平 面 図 (其の )		
位 置	琴浦町 大字杉地		
縮 尺	1:250	単 位	M
図 号	全 葉中の内		
令和	年度施工		
琴 浦 町 建 設 住 宅 課			

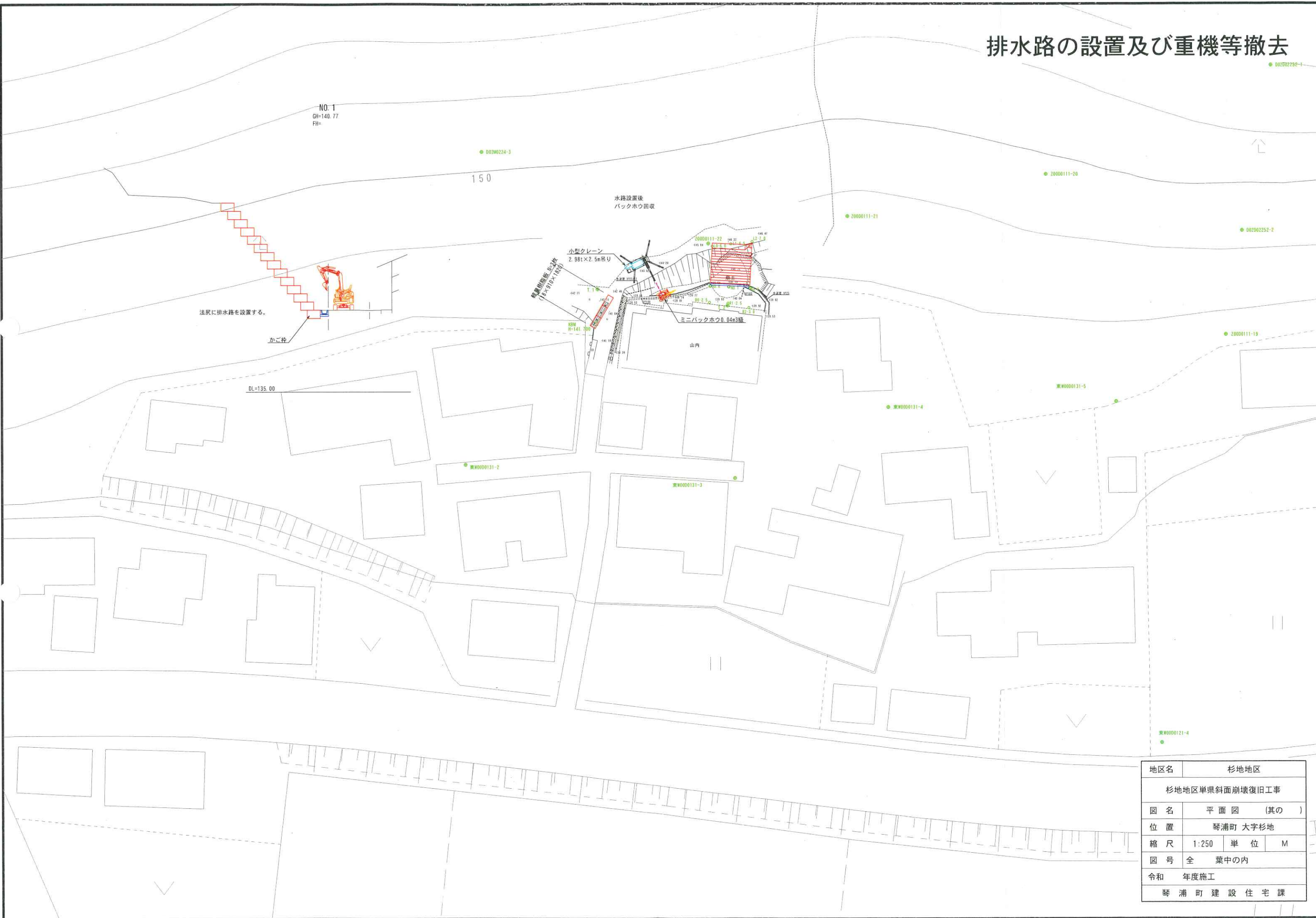
かご枠の設置



地区名	杉地地区		
杉地地区単県斜面崩壊復旧工事			
図 名	平 面 図 (其の )		
位 置	琴浦町 大字杉地		
縮 尺	1:250	単 位	M
図 号	全 葉中の内		
令和	年度施工		
琴 浦 町 建 設 住 宅 課			



排水路の設置及び重機等撤去



地区名	杉地地区		
杉地地区単県斜面崩壊復旧工事			
図 名	平 面 図 (其の )		
位 置	琴浦町 大字杉地		
縮 尺	1:250	単 位	M
図 号	全 葉中の内		
令和	年度施工		
琴 浦 町 建 設 住 宅 課			